

空堀新入りの若者座談会

空堀に最近引っ越してきて、このまちのイベントやお店などに関わっている30歳前後のメンバーで座談会をしました。どんなふう空堀の生活を楽しんでるかを聞いてみました。(聞き手：梅山晃佑)

(梅) 僕は元々空堀に興味があつて引っ越してきましたんですけど、宇津木さんはどうでしたか？

(宇) 私は普段は法律事務で仕事をしていて、2013年9月に八尾市から空堀に引越してきました。一人暮らしを始めようと、最初は茨木市にいかうかと思つてたんです。大阪市は都会、危ない、バイオレンスシティというイメージがあつて(笑)でも人に勧められて空堀に来ました。駅から徒歩すぐのマンションで、最初は駅と家の往復だけで、商店街も最初の頃はなかなかいかなかったですね。どんなまちなのか、ともあんまりじっくりは考えなかったです。

(梅) そこから地域のイベントに参加するまでには、どういうことがあつたんですか？

(宇) 八尾ではご近所づきあいもあつたのに、こつちに来てから全くしゃべらないし、まちのことを知るようなイベントに参加すれば、楽しいかなと思つて。Twitterで*「&ら空堀まつり」のボランティア募集を見たんです。でもぎりぎりまで悩んで。大学生でもないのに、社会人ひとりでふらつとボランティアに行くと、「何が目的なんやろ？」とか思われへんかなと思つて。

(一同) 笑

(宇) それでギリギリまで悩んで、やらないよりやった方がいいかなと思つて、頑張つて飛び込んでみたんです。だからふらつと、というよりは決意してつていう感じでした。それで色々な人と知り合つて、その流れで*「高津宮アートギャザリング」や*「安堂寺まつり」にも参加したんです。誘われて誘われてここに至る、という感じですね。

(山) 宇津木さんは、悩むタイプやけど、呼ばれて行けそうやなと思つたら行ける？

(宇) あんまり言えないところもあるんですけど。元々自分から積極的に動く方ではないんですけど、最近止めないで誘われたら波に乗るようにしているんです。

(梅) どこでその変化があつたんですか？

(宇) 小さい頃から外に出たくなかつたんですけど。だからあんまり友達も多い方じゃないし。でもこの年になって、誘ってくれるというのがありがたく感じるようになったんです。「こんな私でも誘つてくれるんだから行こう」つて。

柿本さん

空堀生活6年目。「空堀むすび食堂」のスタッフや、マチオモイ帖「谷町6帖」の制作などにも参加。近所の4人ユニット「チーム864」でアートイベントにも参加。



(山) すごい。結構大きな変化やね。

(梅) ちなみに柿本さんは空堀に引っ越してきたのはいつくらいなんですか？

(柿) 6年くらい。自分がひとり暮らしをする時からほりまちアートを思い出して、空堀を選んだんです。商店街や空堀の人が協力的なのが印象的やつたんです。

(梅) 引っ越してきたときはどうでした？

(柿) 最初の4年くらいは商店街で買い物したり、隣の人に挨拶したりするくらいでした。特に「何かしたい」みたいな熱があつたわけでもなかつたんですけど。でも友人が教えてくれて梅山さんのところへ遊びに行つたのをきっかけに、空堀でのつながりが広がりました。

(宇) 誰に誘われたかも大事かも。私もアートギャザリングはスタッフをしてる友達に何度も誘われて(笑)、最初は当日のお手伝いだけ行こうと思つてたんですけど、その後も議事録とかのメールがどんどん来るので「最初から最後まで参加しないといけないのかな」と思つて。

(柿) それ作戦にはめられてるよね(笑)

(宇) 山口くんは引っ越してきてどのくらい？

(山) もう3年目かな。結婚を機に家を探して、空堀とか天満が候補やつてんだけど、往来も近かつたし空堀に。

(柿) まだ3年目か。

(山) 先輩(笑)

(宇) 私もまだ2年生になつたばかりなのに、空堀のことを語りだすようになりました(笑)

(梅) そういえば柿本さんは結婚しますもんね。

(山) ほんまや、空堀で出会つた人やん。人生急展開。

(柿) この2年の間に空堀のイベントとかに色々参加するようになって人生は変わったやろね。*「往来」はもちろん、「萌」も存在は知つてたけど入ることもそうなかつたし。出会いは空堀で。

(梅) でも「一緒に何かする」つていうのは大きいですよ。コンパみみたいな出会いもありますけど、学校みたいにサークルとか部活とかで仲良くなるつてよくあるじゃないですか。

(山) 大人になつたらそういうの無いもんね。

(宇) 社会人サークルに憧れてたんですよ。社人が集まつてワイワイするつて憧れるなつて。でもどうやって探していいかわからへんしでも今よく考えたら空堀のイベントもサークルみたいなもんですね。

(柿) あと忘れもしないのが*「マチオモイ帖」。出展する作品を近所のみんなで作つた時は

宇津木さん

空堀生活2年目。空堀商店街の「ぶら空堀まつり」にボランティアで参加し、その後も「高津宮アートギャザリング」「安堂寺まつり」などにも参加。



毎日のように会つてたから。しかも仕事帰りに夜中の2時とか3時まで集まつて作業してねんで。笑っちゃうよ(笑)

(宇) アートギャザリングの時も同じでした！「明日、つていうか今日仕事やのに」みたいな。社会人になつてから仕事以外でこんなに真剣に話したことあるかなつて。

(柿) 私もマチオモイ帖で一気に仲良くなった。

(柿) 地域でこんなイベントやつてるところ聞かないですよんね。特殊やと思います、空堀は。

(梅) 一人暮らしして近所に友達がいるつて、なかなか無いし、社会人になつてから友達できないですよんね。

(柿) そうそうそう！

(山) 空堀だつたら、新しい人のつながりが生まれやすいかもしれないね。

【補足】

*からほりまちアート

空堀を舞台にしたアートイベントで2010年に終了

*ぶら空堀まつり

商店街で毎年5月に開催される商店街組合主催のお祭り

*高津宮アートギャザリング

秋祭の一企画で神社の境内を使ったアートイベント

*安堂寺まつり

安堂寺(谷6駅の北東あたり)で復活した縁日

*コワーキングスペース往来

ご近所さんが集まるお店で今回の座談会の会場

*わたしのマチオモイ帖展

自分の好きなまちを紹介する冊子ばかりを集めた展覧会

山口くん

空堀生活3年目。コワーキングスペース往来のスタッフとして、週の半分はお店の番頭に。「空堀むすび食堂」のスタッフや、マチオモイ帖「谷町6帖」の制作などにも参加。



空堀むすび食堂のご案内

空堀むすび食堂は「まちのイベント情報の掲示十立ち飲み屋のような雰囲気での食事会」です。不定期に実施しています。出入り自由で誰でもふらつと立ち寄れますので、「まちのことに関わってみたいけどとっかかりがない」「近所で遊べる友達が欲しい」という方は気軽に遊びに来てください。

●次回の開催予定

日時：12/6(土) 18:00~21:30

会場：かいご・かんご塾 胡桃(桃谷公園前)

参加費：無料(飲食費は実費)

<http://daichinaikai.jimdo.com/musubi/>